

健康なまちづくりのためのソーシャル・キャピタル形成手法を活用した介入実証と評価に関する研究

国立保健医療科学院
上席主任研究官 福島富士子

1.研究背景

H15~H17 厚生労働科学政策科学推進事業
『少子化における妊娠・出産に関する政策提言に関する研究』において

少子化の要因を探る方法として、
多産地域における多産の要因とは？

人と人との親密なつながり

政策提言（H17年度報告）

1. 人と人との関わりのきっかけ作りとしての子育て支援施策
2. 関係性に基づく地域づくりの支援

H19~21

H22~24

H25~26

次世代育成支援政策における産後育児支援体制の評価に関する研究
⇒ こにちは赤ちゃん事業へ
⇒ モデル事業世田谷産後ケアセンター設立・評価

住民主体のソーシャル・キャピタル形成活動プロセスと支援体制に関する介入実証研究
⇒ 産後ケア事業モデル事業化へ
⇒ モデル事業わこう助産院設立・評価

健康なまちづくりのためのソーシャル・キャピタル形成手法を活用した介入実証と評価に関する研究
⇒ SO構成のための手引書作成
⇒ モデル事業：山梨県、山梨県北杜市、高知県、神奈川県秦野市 設立・評価

2.研究目的

「子産み・子育て」からはじまる、
ソーシャル・キャピタルの醸成とまちづくり

- ➡ 健康なまちづくりのためのSC形成手法利用による自治体への介入及び検証と標準化された手法を提案
- ➡ 産前産後ケア創設のための展開プロセスの評価、産後ケアセンターがSC醸成に果たす役割を明らかする。

3.研究の方法

1)アンケート調査及び、専門家GWによる先行モデル事業の評価・分析

定性・定量的な実態調査

- ➡ 山梨県、山梨県北杜市、神奈川県秦野市においてヒアリング調査を行った。
- ➡ 和光市のわこう助産院にて利用者に向けてのSCアンケート調査を行った。

2)自治体が計画する産前産後ケアセンター計画への介入実証

世田谷区、和光市でのSC形成・活用プロセス
手法を利用し、山梨県、山梨県北杜市、神奈川
県秦野市において介入実証研究。

3)得られた成果の標準化と全国規模での定着に向けた手引書の作成 (～H26年度まで継続)

4.結果 1-1.先行事例調査

定性的・定量的な実態調査

和光市のわこう産前産後ケアセンターにてヒアリング調査と、利用者に向けてのSCアンケート調査を行った。

問0-3 新しい人づきあいが生まれたか？

Response	Percentage
生まれた	42.69%
無回答	11.1%
なかつた	20.2%
特に生まれなかつた	20.1%

問:一般的には信頼できるか。

Category	2011 (%)	2013 (%)
どちらの人は信頼出来る	32%	34%
どちらかに信頼出来る	39%	39%
注意するに越したことはない	16%	15%
どちらかに信頼出来ない	30%	30%
どちらかに信頼出来る	3%	3%
どちらかに信頼出来る	0%	0%
どちらかに信頼出来る	15%	15%

新しい人付き合いが生まれ、ひとに対する信頼度もわずかながらアップしている

地域のSCの醸成

4.結果 1-2. 産前産後ケアセンターによるSC形成活動

【わこう産前産後ケアセンターの実績】

乳房ケア外来数 教室等での来院組数

年度	乳房ケア外来数	教室等での来院組数
23年度	153	484
24年度	230	1886

和光市から家庭訪問事業の委託
791件実施(H24年度)
毎月の母親たちのイベント開催(料理教室、ママカフェ、アロマ教室、ベビーマッサージ、味噌づくり、災害時セミナーなど)
子育てNPO・行政保健師との共同勉強会
災害時福祉避難所の指定
児童館で「ママのための防災講座」「育児相談」「中学生と乳幼児のふれあい教室」開催
「命の授業」を地域の中学校で開催
地域の子育て支援施設で定期的に「おっぱい教室」開催
講演依頼件数25年度 4件

産前産後ケアセンター視察 大阪助産師会・沖縄助産師会・山梨県・甲州市・山梨市・岩手県遠野市・神奈川県秦野市等、全国から

全国から注目される先進的施設

安心して子育てできる支援ネットワークの構築

4.結果 1-3.

定性的・定量的な実態調査

➡ 山梨県、山梨県北杜市、神奈川県秦野市において介入研究を行ったアーリング調査を行った。

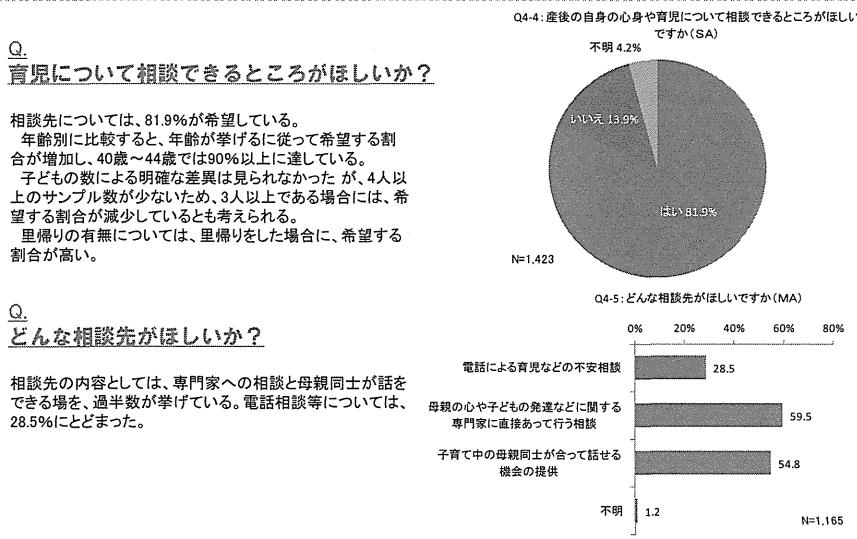
山梨県のケース ➡ H26年度産後ケアセンター開設予定

The diagram shows a network of postpartum support services. It includes local governments (Yamanashi Prefecture, Yamanashi City, Nakatsugawa Town), medical institutions (Yamanashi Prefectural Hospital, Nakatsugawa Hospital), and various support centers (Postpartum Care Center, Sorcha Capital, NPOs). Arrows indicate the flow of information and support between these entities.

Q. 山梨県福祉保健部健康増進課「第1回 新たな産後育児支援の在り方検討委員会」資料より

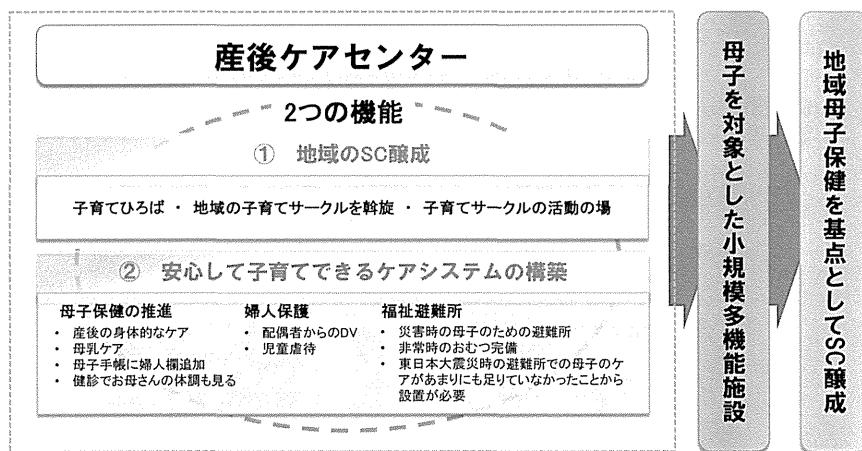
4.結果 1-4.

【山梨県】産後の母親支援に関するアンケート結果



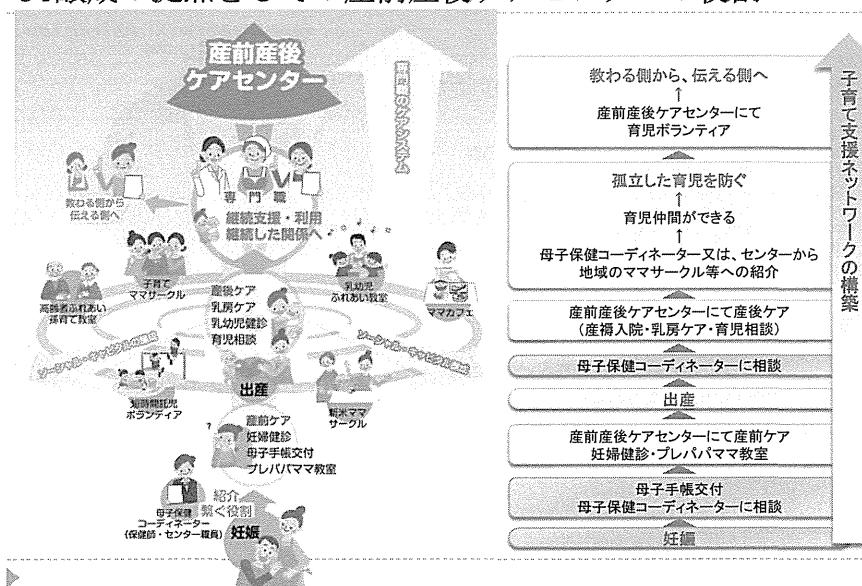
5. 考察.

子産み・子育てから始まるソーシャル・キャピタル醸成とまちづくり

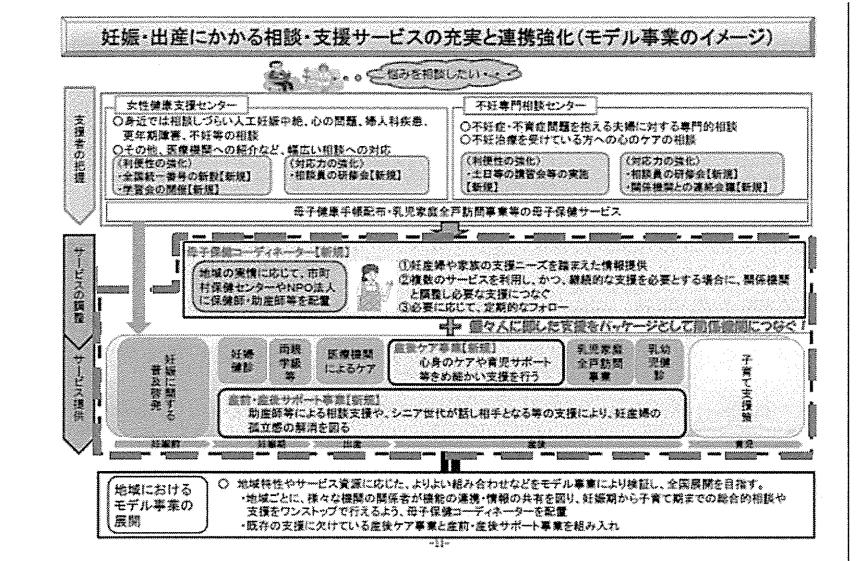


5. 考察

SC醸成の拠点としての産前産後ケアセンターの役割

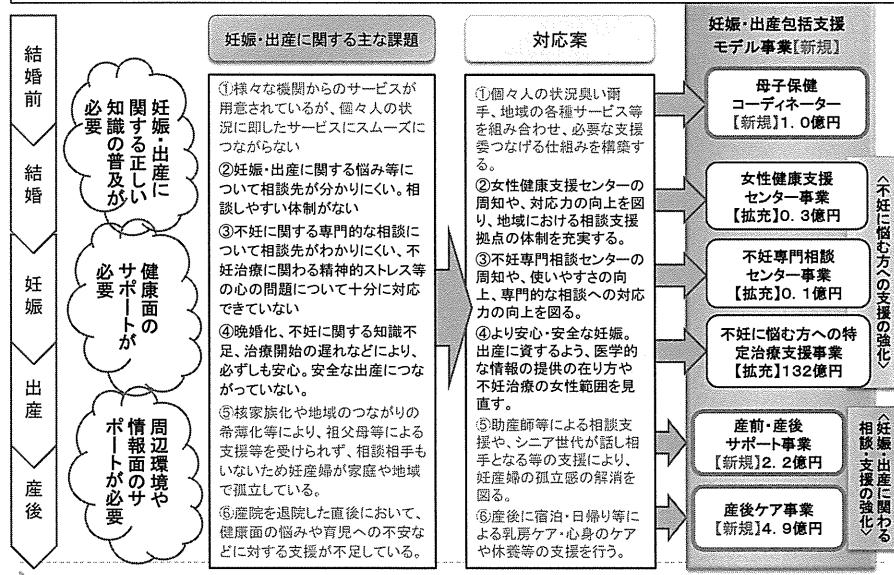


参考資料



地域における切れ目ない妊娠・出産支援の強化（推進枠91億円）

- 少子化対策として、「子育て支援」「働き方改革」に加え、「地域における切れ目ない妊娠・出産支援の強化」を図る。
- ※「日本再興戦略」、「経済財政運営と改革の基本方針について」、「少子化危機突破のための緊急対策」、「社会保障制度改革国民会議」に位置づけ



健康なまちづくりのためのソーシャル・キャピタル形成手法を活用した 介入実証と評価に関する研究 政策提言

少子化対策、虐待防止対策を包括した地域保健の課題解決のためには、次のような施策が行政、民間等によって実行に移される必要がある。

若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現する

人口減少を克服するため、若い世代が安心して働き、希望どおり結婚・出産・子育てをすることができる社会経済環境を実現する。若い世代の希望を実現するためには、結婚から妊娠・出産、そして子育てまでの支援を行っていくことが重要である。

I 関係性に基づく地域づくりの支援

① 継続的な世代間交流をはかる環境づくりの推進

家庭、地域、学校など、あらゆるところに、相互関係性形成と相互承認の土壤を育て、ネットワークを子どもたちと一緒につくりあげること

II 人と人とのかかわりのきっかけをつくる行政医療施策の充実

② SC の醸成、母子保健コーディネーターの配置の理解・実現のため、保健師、助産師等ステークホルダーへ研修を開催。

③ 家族、地域とのかかわりをつくる産前・産後サポーター事業の充実

新たなSC醸成のために、訪問員は地域の住民である民生委員や、愛育班員、こそだてNPO、ボランティアが参加することが必要であり、その育成及び研修等の充実を図ること

④ 地域に根ざした子育て世代包括支援センターの配置（産前・産後ケアセンター含） 生活モデルによる妊娠、出産、特に産後ケアの創設

新たなSC拠点としての子育て世代包括支援センター創設のための助成の復活

⑤ 地域のNPO等との協同によるSC醸成に関わる研修会の開催

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
福島富士子他	安心して子どもを産み育てられるために、地方創生の推進に関する提言	全国町村会	2014.11	5-	2014
福島富士子	看護研究から政策をうみだすために	看護研究 医学書院	2015.2	43-51	2015
福島富士子	妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援について	月刊地域保健	2015.1	8-13	2015
福島富士子	求められる「産後ケア」とは	目黒区 「出会い系キラリ」	2015.3	2-5	2015
川崎千恵、 大澤絵里	オーストラリアにおける子育て支援政策の実際	保健師ジャーナル	70(11)	984-989	2014

学会発表

発表者氏名	論文タイトル名	学会名	発表月日
福島富士子 他	母子保健－特に産後から始まる SC の醸成 地域保健施策における SC を活用した戦略と戦術	第 73 回 日本公衆衛生学会総会	2014. 11

